

特集 彫刻の魅力に触れてみませんか

みなさんは彫刻鑑賞をされたことがありますか。

市内には約300点もの野外彫刻があり、美術館の収蔵品も加えらるとかなりの数の彫刻作品が存在しています。

これらの中には、札幌の風景に創作意欲をかき立てられた札幌ゆかりの彫刻家による作品が多数あり、街並みと調和しています。

スポーツ、食欲、読書「…の秋」はたくさんありますが、今月は彫刻鑑賞による「芸術の秋」の楽しみ方を特集します。

彫刻

鑑賞を楽しむなら、宮の森にある札幌彫刻美術館がお勧めです。

札幌彫刻美術館は、日本近代彫刻史に輝かしい足跡を残した、札幌出身の本郷新（1905～1980）からアートリエや作品などの寄贈を受け、1980（昭和55）年に本郷新記念館として一般公開されたことに始まります。

翌年には、記念館の向かいに、札幌彫刻美術館本館が開館し、以来、市民と彫刻を結ぶ接点として、広く親しまれています。

現在

彫刻美術館には、656点の彫刻と千209点の絵画が収蔵されています。

それら収蔵品の中から本館と記念館を合わせて約100点を屋内、屋外に常設展示し、定期的に展示替えを行っています（区民のページ「ちゅうおう」表紙参照）。

また、8月30日（土）から10月13日（祝）までの間は特別展として、北海道を活動の拠点としている彫刻家を紹介する特別展示「北の彫刻展2008」が開催されています。

今後

展示の予定は次のようになっています。

本館では、11月8日（土）から平成21年3月29日（日）までの間「やさしさに包まれて〜本郷新の母子像〜」というテーマで、本郷新の手掛けた母子像の彫刻や絵画などを紹介する常設展が行われます。

記念館では、11月8日（土）から平成21年3月29日（日）までの間「あこがれのヨーロッパ〜ヨーロッパ滞在スケッチ〜」というテーマで、本郷新がヨーロッパに滞在した際に描いた数多くのスケッチが紹介されます。

彫刻美術館へお越しください！

当館では、市民のみなさんに彫刻に親しんでもらうため、さまざまな取り組みを行っています。

川合梯一館長



宮の森散策と美術館鑑賞…当館周辺の自然を散策したあと、学芸員の解説とともに館内の彫刻を鑑賞していただきます。10年ほど続けている人気の催しで、年に6回行っており、今月は10月25日（土）に開催いたします（詳細は全市版13ページをご覧ください）。

市民サンクスデー…毎年文化の日（11月3日（祝））に施設を無料で開放しています。ぜひご来館ください。

貸館…芸術家の方に発表の場を提供するため、貸館も行っています。10月18日（土）から11月3日（祝）までの間、本郷新にテラコッタ技術を教えた陶芸家の白石齊さんと画家の孝子さんご夫妻による「二人展」を開催します。なお、齊さんは札幌市役所本庁舎ロビーの床面（左写真参照）をデザインされた方でもあります。



出前授業…当館職員が収蔵品の彫刻とともに小学校に赴き、児童と彫刻を鑑賞したり粘土で再現してもらったりしています。今年度は市内15校を訪問する予定です。



出前授業の様子

学芸員の解説を聞く三角山小3年生



小学生の来館…総合学習の時間などを活用して当館を訪れ、学芸員の解説とともに彫刻鑑賞をします。訪れた子どもたちの感性にはたびたび驚かされています。

そのほかに、コンサートの開催や前庭を利用する方のためにベンチの設置なども行っています。

今後もみなさんから愛される美術館を目指してまいりますので、ぜひ当館にお越しください。

本郷新記念 札幌彫刻美術館 宮の森4-12 ☎642-5709

開館時間／午前10時～午後5時

休館日／月曜日（祝日等の場合は翌日）、年末年始、展示替えのため臨時休館あり。

観覧料／一般300円、高校・大学生200円（中学生以下無料）

交通機関／地下鉄東西線西28丁目駅からJRバス山手線「循環西20」で「彫刻美術館入口」下車、徒歩10分。

ホームページ／<http://www.hongoshin-smos.jp>

